



## 神奈川の研究者紹介

氏名	横川 剛毅（よこかわ ごうき）	
現職	和泉短期大学児童福祉学科 教授、社会福祉士	
主な経歴	1993年より神奈川県職員。2005年より和泉短期大学教員。 東海大学大学院文学研究科コミュニケーション学専攻博士後 期課程単位取得退学。保健福祉学修士。	
専攻分野・ 研究テーマ	障がい者福祉学 知的障がいのある人への適切な支援	
主要業績 (これまで発 表した著 書、論文、 行政委員の 経験等)	<p>【著書】（いずれも共著）</p> <p>「知的障害援助専門員養成通信教育テキスト 知的障害者援助技術」（2016年）</p> <p>「子ども家庭支援」（2020年）</p> <p>【論文】</p> <p>「重症心身障害児・者支援における意思決定支援に関する基礎研究」（2020年・共著）</p> <p>「遠隔による短期大学認証評価に関する考察」（2021年・単著）</p> <p>【委員等】</p> <p>横浜市福祉サービス第三者評価推進委員会 副委員長（2014年～2020年度）</p> <p>相模原市総合計画審議会 委員（2016～2017年度）</p> <p>日本短期大学基準協会 自己点検・評価 評価員（2016、2019、2020、2022年度）</p> <p>社会福祉法人理事、障がいのある人の生活する施設 第三者委員など</p>	
神奈川県と の関わり	1993年に県職員として採用されたことを機に神奈川県に転居。以来県内に在住。	
メッセージ	<p>施設職員として勤めている際に、これから支援者になることを目指す人に伝える職に就きたいと考え、大学院へ進学することを許可していただきました。その経験から、働きながらの学びが許容される社会、視野と領域を広げアップデートすることの大切さを肌で感じました。</p> <p>現職場は、卒業後に保育者となる人が多いです。福祉の学びから、その重要性を伝え、福祉マインドを保育現場で生かす人材養成を心がけています。また、福祉現場に勤める人もおります。「支援員は、誰に何をすることで給料をもらう職業なのか」という原点を見失わせないようにしたいです。そのために、かつて支援員であった者として、授業だけでなく日頃の言動や姿勢で学生に示していきたいです。</p> <p>今後は、県内の優れた実践家へのオーラル・ヒストリー（口述記録）に、是非取り組みたいと考えています。</p>	
連絡先	和泉短期大学 〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉 2-2-1 電話：042-754-1133（代表） E-mail:yokokawa@izumi-c.ac.jp	

## 神奈川の研究者紹介

氏名	矢野 由佳子（やの ゆかこ）	
現職	和泉短期大学児童福祉学科 准教授 臨床心理士/公認心理師	
主な経歴	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了 助手などを経て2004年より和泉短期大学児童福祉学科専 任講師、2010年より現職。臨床心理士として保育所に勤務。	
専攻分野・ 研究テーマ	発達心理学・臨床心理学 保育者の感情制御とメンタルヘルス、乳幼児の心理臨床	
主要業績 （これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等）	<p>【著書】 『なぜ？から探る子ども理解と援助（シリーズ 知のゆりかご）』（共著）みらい、2022</p> <p>【論文】 『保育者養成におけるメンタルヘルス教育』（単著）和泉短期大学教職研究第3号、2020 『環境の変化に対する感情と行動 - コロナ禍に伴う環境の変化に着目して - 』（単著） 和泉短期大学教職研究第4号、2021</p> <p>【委員等】 相模原市男女共同参画審議会 委員（2016年～）</p>	
神奈川県と の関わり	神奈川県で出生し、神奈川県在住。2004年より相模原市の短大に勤務。	
メッセージ	<p>保育や教育、介護等に携わる対人援助職は、子どもや児童、生徒、利用者との関わりを通して楽しみや喜びを見出す場面が多くあって欲しいと願っています。しかし多様な人と接する中で、困難や葛藤も抱えます。支援者が支援されることは、心身ともに健康を保って仕事を続ける上でとても重要だと学生にもよく話しています。また、保育では子どもの主体性を尊重することを大切にします。誰もが同じことに興味を持つわけではありませんし、個々に寄り添うことは、子どもの安心感、自己肯定感にもつながります。では、保育者の主体性は尊重されているのでしょうか。保育者の意思や考えが尊重され、仮にそれが適切でない場合や、力量が不足している場合には、頭ごなしに否定せず、望ましい方法を一緒に考える人が周りにいたら、保育者として成長するきっかけになるのではないのでしょうか。そのようなことを考えながら、質の高い保育者の養成と現場の先生方の応援をしていきたいと思っています。</p>	
連絡先	和泉短期大学 〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉 2-2-1 電話：042-754-1133（代表） E-mail:yano@izumi-c.ac.jp	